

日英語における裸の付加詞名詞句とその意味地図

谷光生 (宇都宮大学)

日本語ならびに英語では、以下に例示されるように、空間・時間・数量を表す名詞句が前置詞や格などの機能要素を伴うことなく、付加詞として機能する。

- (1) a. 彼女は荷物を20メートル運んだ。 [空間を表す名詞句]
b. 私は1時間走って、その後、1時間歩きたい。 [時間を表す名詞句]
c. 彼らは五人全員文句を言っている。 [数量を表す名詞句]
- (2) a. She carried the parcel *twenty-five miles*. [空間を表す名詞句]
b. I like to run *an hour* and then walk *an hour*. [時間を表す名詞句]
c. They are *all five of them* complaining. [数量を表す名詞句]

本発表はこのような種類の裸の付加詞名詞句 (bare adjunct noun phrase) に着目し、まず、これら言語表現の主たる性質を概観する。

その後、普遍的な概念空間 (conceptual space) の一部を提案し、日英語の関連表現がそこでどのような意味地図 (semantic map) を示し得るか検討を加える。その際、数量詞遊離構文 (quantifier-floating construction) や疑似部分構造 (pseudo-partitive structure) などの意味機能に関し、従来看過されてきた日英語の異同を明らかにする。